

吉善上高樹人呼爲殷精、

〔外國竹枝詞〕日本

日出天皇號至尊五畿七道附庸臣空傳歷代吾妻鏡太閣終歸木下人、

隋時致書自稱日出處天子國中稱天皇以尊爲號有五畿七道三島附庸國百餘吾妻鏡紀本國君臣事蹟吾妻島名也木下人爲平秀吉萬曆中纂奪倭國自號太閤王、

〔東照宮御實紀附錄四〕氏井孫之丞某渡邊忠右衛門守綱二人は池田が士卒を射しに守綱館を落しければ孫之丞敵の中へかけ入り敵を突ふせ其鎗を取てかへり守綱にかへしければこの勵武藏坊辨慶にもまされり今より氏を武藏と改むべしと仰有てあらためしなりとぞ、

〔鹽尻六〕物加波藏人姓名德大寺家に物加波遠江守といふ諸大夫あり是は侍官の小侍従と和歌贈答して物かはと君がいひけん鳥の音のと讀しゆゑに物かはの藏人と實定卿よび給ひしものゝ裔也彼物かは藏人姓名は新拾遺集に藤原經尹とあり、

○按ズルニ物加波藏人ノコトハ名篇異名ノ條ニアリ、

〔雲上明覽下〕德大寺前内大臣實堅公諸大夫物加波左馬權助物加波主稅權助、  
〔先哲叢談續編四〕林道榮

鎮臺牛込蔭鎮招致道榮遇待不薄一日置酒與劉東閣陪侍其座偶分杜詩東閣官梅句賦詩即應聲云鎮臺明府賞官梅梅蘿枝々春氣催不學餘香衣袂著醉恩深似訪花回蔭鎮賞歎不已其詩播聞治下由是時人呼官梅氏後遂改氏官梅云、

〔雍州府志六土產〕龍腦丸半井宅元在烏丸正親町北今施藥院地家有大井隔其中間半用製藥之料半充雜用依之有半井之號曾和泉國界和氣氏有半井春蘭軒者是亦同出自、

〔養生法下〕桂川氏はそのかみ平戸の嵐山甫安に玄たがひ長さきにて蘭人の外科を學ばれあら